

# 復興庁平成29年度 「共創力で進む東北プロジェクト」 活動概要説明資料



事務局：NECソリューションイノベータ株式会社

# 1. 本事業の概要

■ **事業名**：「共創力で進む東北プロジェクト」

■ **目的**：「**発信力**を高め、**仲間**を見つけ、共に**未来**を創る」

■ **手段**：「**共創イベント**」を通じた情報発信

■ 「Fw:東北」は「進む」の意味を「フォワード」に置き換えた共創イベントのロゴです

- 東北で、被災地復興及び地域課題の解決に取り組んでいるNPO、企業、自治体等が、自らの取組を加速・発展させるため、**共創イベント**を通じて、**情報発信力の強化**や**新たなパートナーとのつながり**を創出し、地域社会の課題解決を目指す。

## 2. 私たちの目指す「共創」について

# 「共創イベント」とは？

様々な立場の人たちが開かれた場に集い、共創でイノベーション(変革による新たな価値)を生み出す場

### ハッカソン

ITエンジニアやデザイナー、  
ビジネスプランナーなど  
多様な人材が集まって制限時間内に  
プロダクトを開発するイベント

### アイデアソン

ハッカソンのアイデア版。試作を  
行わないアイデア創発イベント。  
ハッカソンよりも  
幅広い人たちが参加できる

#### 【共創での課題解決例】 福井県鯖江市×NECソリューションイノベータ「エリアリレーアイデアソン」

- ①鯖江市に派遣されたNECソリューションイノベータの社員が、市民にヒアリングを行い、「子育て」に関する地域課題を発掘。
- ②鯖江市の子育ての課題を解決するアイデアソンを、福岡で実施。同社社員や近隣自治体職員・NPOのスタッフらが参加。課題解決のためのアイデアを共創。
- ③アイデアソンで生まれたアイデアを鯖江市に還元し、社員と地元ITベンチャーとの共創により、子育て支援のスマホアプリをわずか3か月で開発。



↑アイデアソンの様子  
離れた地域で課題を共有し、解決するためのアイデアを出し合う。



生まれたアプリ→  
鯖江市の子育て支援アプリ  
「つつじっこリトル」



## 3. 本事業の概要

### 事業の流れ：

1. 東北地区から**情報発信ニーズ**（=共創イベントのテーマ）を募集  
（最大**10件** ※第1期募集で2件採択済）
2. 上記より選定された課題をもとに**共創イベント**を**全国10ヶ所**で開催  
（開催候補地：東北被災三県その他、東京、大阪、熊本、台湾などを予定）
3. 共創イベントで生み出した課題解決のソリューションの具体化に対し  
**最大300万円**をサポート
4. 並行して「**週次の交流の場（Fw:東北weekly）**」を復興庁（中央合同庁舎4号館）等で開催
5. 一連の活動をメディア、SNS等で**情報発信**
6. 年間の**成果発表イベント**を2018年3月東京で開催

## 4. 情報発信ニーズ募集（第2期）について

**募集締切**：1次締切 2017年6月30日(金)

2次締切 2017年7月26日(水)

※それぞれの締切毎に審査・採択を行います。

**採択件数**：最大8件

**応募概要**：

### 1. 応募資格

東北で被災地復興および地域課題の解決に取り組んでいる各種団体（NPO、企業、自治体等）

### 2. 応募方法

エントリーシートを締切までに提出

### 3. 募集テーマ

自らの取組を発展・加速させるため、共創イベントを通じて、情報発信力の強化や新たなパートナーとのつながりを創出し、課題解決したいニーズ

### 4. 審査方法：以下のフローによって選考を実施

【1次選考】エントリーシートの書類審査 【2次選考】ヒアリングを踏まえた審査

## 4. 情報発信ニーズ募集（第2期）について

### 事業の流れ：

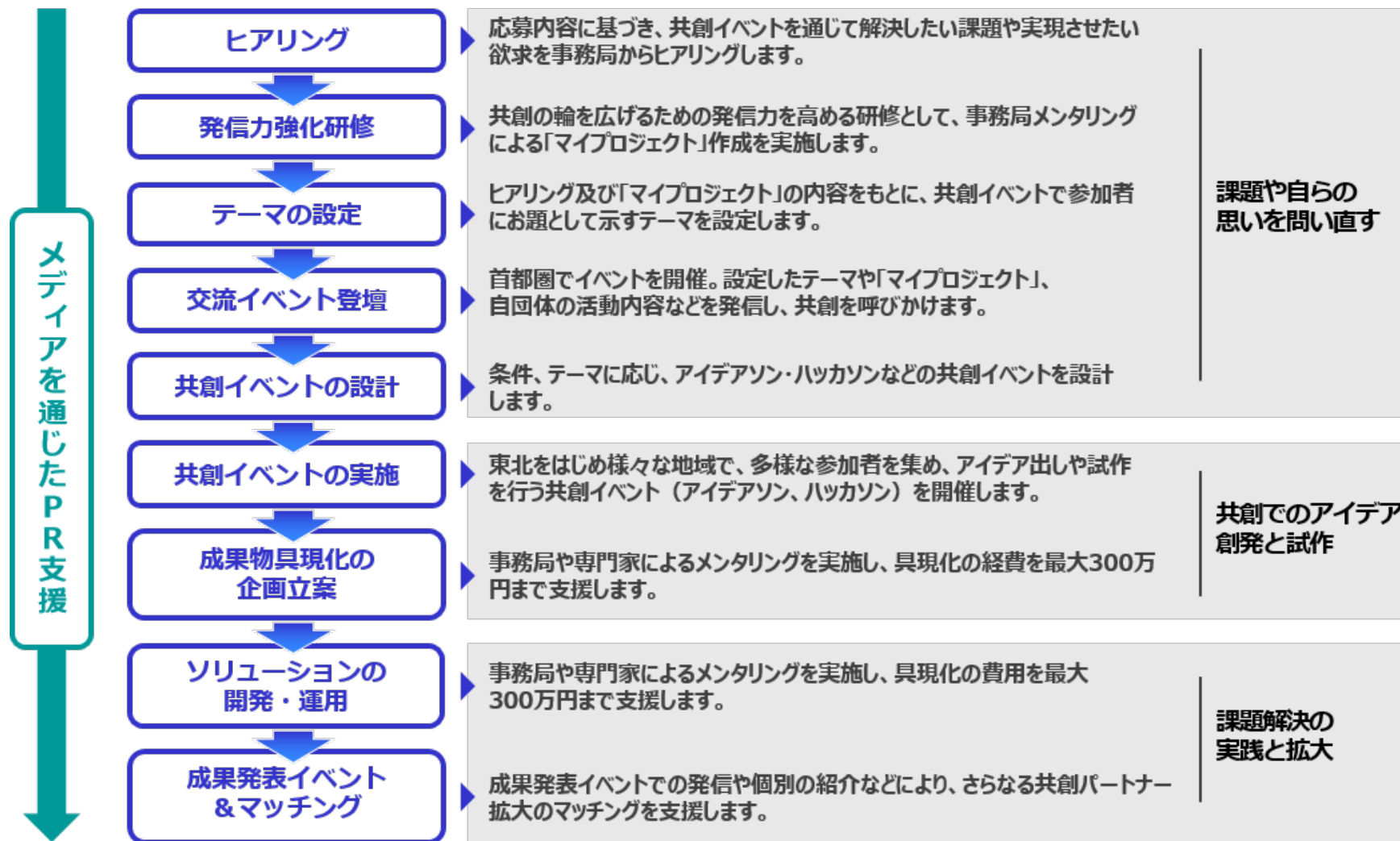
1. 共創イベントの企画・実施
2. 情報発信ソリューション構築
3. 各種メディア等を通じた応募者の取組成果の他地域へのPR支援
4. 週次の交流の場の企画・運営

### 具現化サポート：最大300万円

具現化サポートについては、共創イベントで生み出した課題解決のソリューションの具現化に対する費用（対象項目は募集要項参照）として支出できるものとなります。具体的な用途については、共創イベント後に事務局との協議により決定します。

# 4. 情報発信ニーズ募集（第2期）について

< 採択後の支援フローの例 > ※下記をベースに、採択後に協議します



## 5. 第1期情報発信ニーズ公募結果

### 第1期採択結果

選定委員会にて課題意識、共創意欲、事業継続性、変革可能性について評価し、以下の2案件を採択した。

**「ヒガシ・デ・アエル」  
～400年の復興まちづくりと歴史的商家の  
リノベーションによる文化・観光拠点の創造～**

シネマ・デ・アエル実行委員会（岩手県）

**シェアリングエコノミーを活用した「共助」による  
まちづくり・産業づくり**

気仙沼市（宮城県）



## 6. 今後の予定

### 第2期情報発信ニーズの募集（6/15～）

### 週次イベント（6/20、6/30を予定、以降も順次開催予定）

- 5/23のイベントでは約50名が参加
- 「東北」をテーマにやりたいことを参加者同士が共有しあい、参加者同士がつながっていくことを体験し、会場也大いに盛り上がりました！

### 第一回 共創イベントの開催 （7/15,16予定）



Facebookで情報を発信中！

<https://www.facebook.com/fwtohoku/>

ハッシュタグ：#fw東北

# 7. 年間スケジュール（予定）

